

平成24年 1月-9月の事故発生状況（速報）

（第1四半期-第3四半期）

（北陸地方整備局発注の直轄工事）

☆事故件数は、第四半期で、65件発生。（過去5年で最小）☆

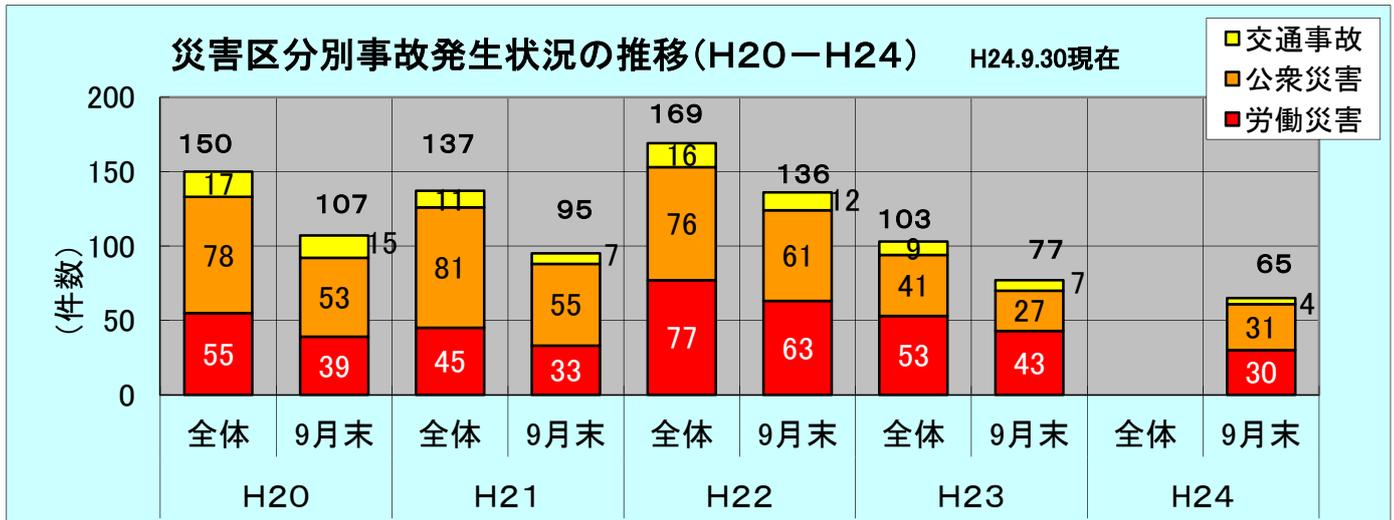
☆死亡事故が3件発生（3月、5月、10月）死者数6名☆

☆休業4日以上の発生割合が過去5年で最悪、件数も11件発生☆

☆10月から年末は、過去に重大な労働災害が多く発生、対策の徹底を☆

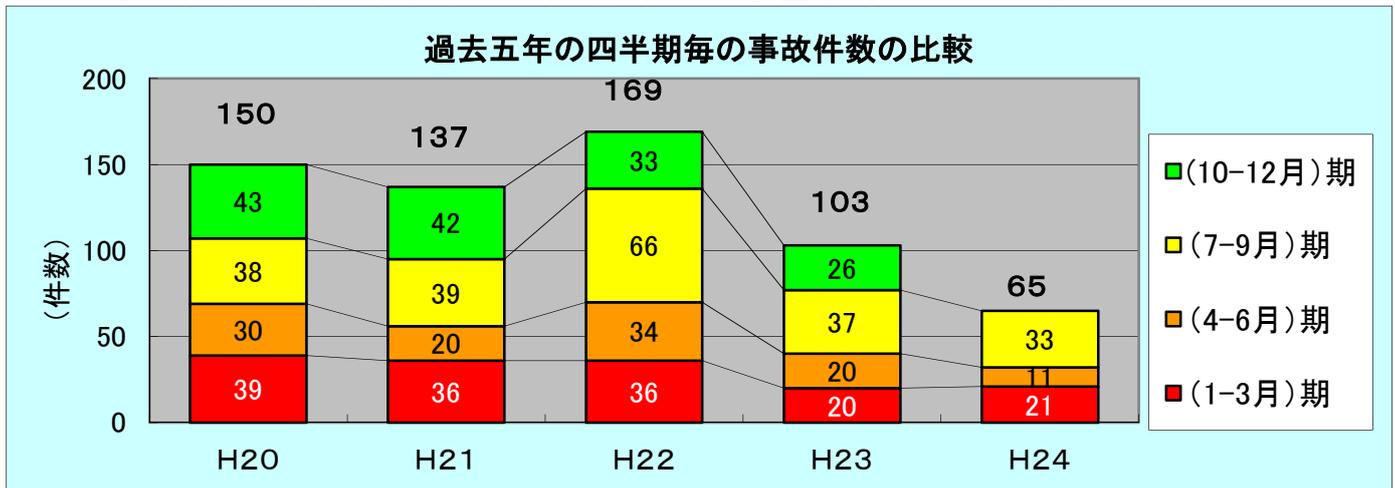
1. 工事事務速報の件数

第3四半期までで65件発生。件数では、過去五年で最少となっています。



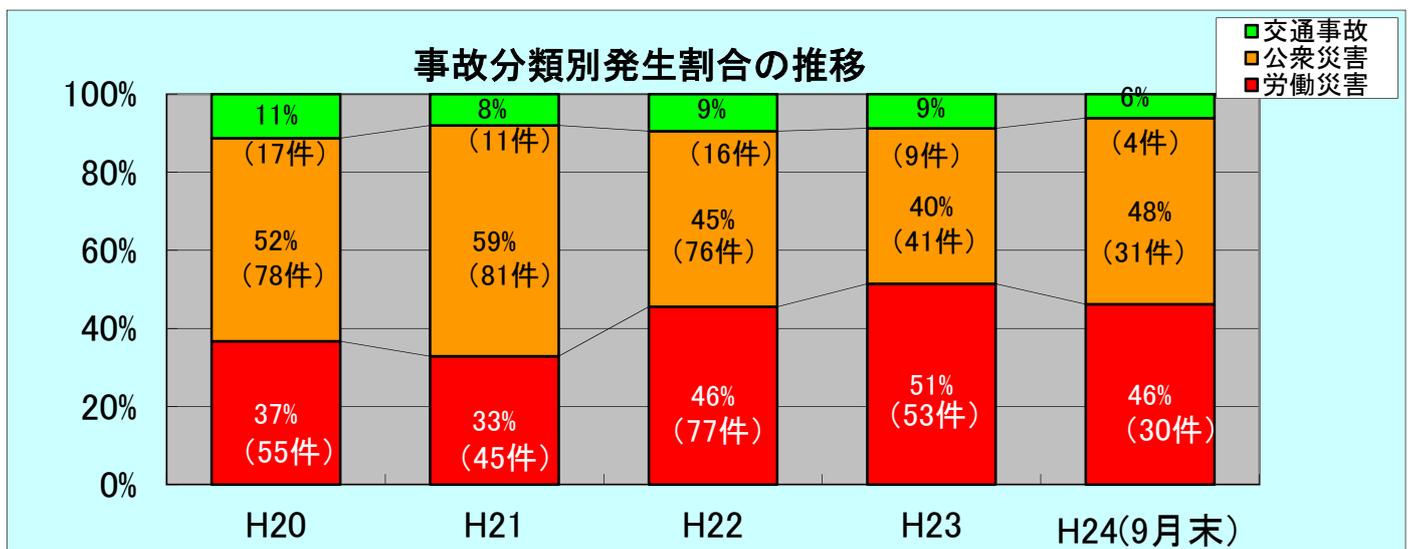
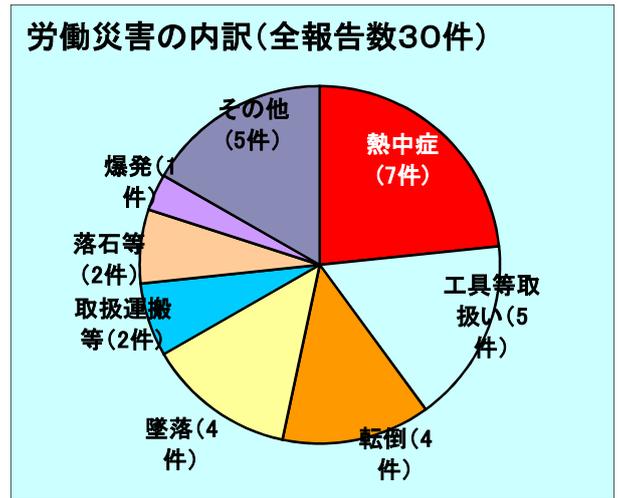
2. 各年の四半期毎の事故件数の推移

過去の事故発生状況は、第4四半期（10月-12月）に、重大な労働災害が多く発生する傾向にあります。安全対策の徹底を行ってください。



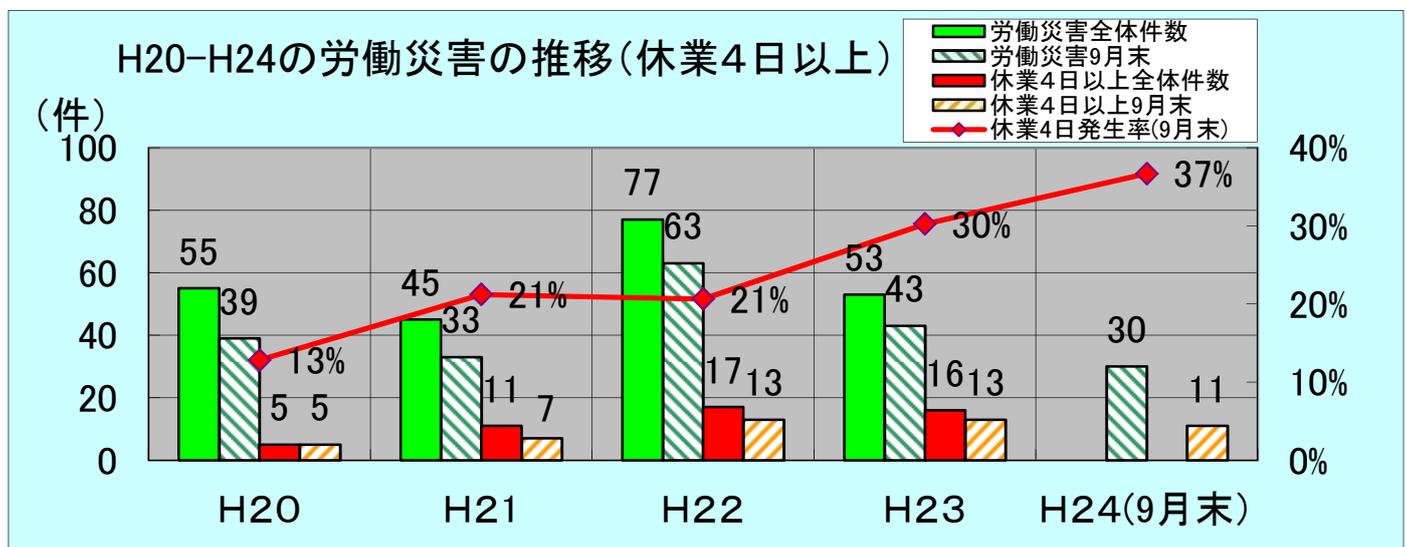
3. 労働災害の発生状況

- (1) 労働災害の発生原因の内訳は、熱中症が7件、工具等取扱いが5件、転倒、墜落がそれぞれ4件となっています。
- (2) 労働災害の発生割合は、平成22年・23年から高い傾向にあり、本年も同様に高い傾向にあります。



4. 労働災害の休業4日以上事故の占める割合

平成22年・23年から、休業4日以上重大災害の発生率が高い状況が続いています。本年は、発生率も37%と高く、しかも重大事故が多く発生しています。



5. 平成24年1月から10月までの休業4日以上事故の発生状況

死亡事故が3件死者数6名となっており、近年にない状況となっています。また、事故による負傷者も、骨折・指の切断等休業日数の多い、重篤な事故が多く発生しています。

事故の発生件数は、10月末現在で13件発生しています。9月に5件、10月に2件発生し、この2ヶ月間で、全体発生件数の半分以上が発生しています。

休業4日以上事故の原因は、工具取り扱い、重機接触等、転落による事故が多く発生している状況にあります。

| 番号 | 負傷 | 発生月 | 発生地区 | 工種 | 業種 | 事故の型分類 | 事故概要 | 怪我の状況 |
|----|--------|-----|------|----|-------|--------|---|-----------------|
| 1 | 死亡 | 3月 | 西部 | 河川 | 委託 | その他 | 低水流量観測（船観測）をしていたところ、波を受けゴムボートが横になり、測量作業員がバランスを崩して転覆し、水死した。（胴長を着用していた） | 水死（胴長着用） |
| 2 | 死亡 | 5月 | 中越 | 道路 | トンネル | 爆発 | トンネル坑内の点検作業のため、入坑したところ、トンネル内に可燃性ガスが発生し、何らかの原因で着火爆発し作業員4名が死亡した。 | 作業員4名死亡 |
| 3 | 死亡 | 10月 | 中越 | 河川 | 樋門樋管 | 車両等接触 | 生コン打設作業終了後、生コン車が荷下ろしを終了し、前進したところ、生コン車左前方にいた作業員を引き死亡させた。 | 死亡事故 |
| 4 | 休業4日以上 | 6月 | 西部 | 道路 | PC上部 | その他 | 作業員がしゃがみ込んでいるので、様子を見たところ、意識がもうろうとしていたため、救急車により病院に搬送した。検査の結果、脳卒中により倒れた模様。 | 脳卒中の発症 |
| 5 | 休業4日以上 | 7月 | 信越 | 砂防 | 法面 | 落石等 | 山腹工の法面上部（法肩から約2m下方）にて人力法面作業中、法肩付近から径約20cmの岩片が自然落下し、左手に当たり、怪我をした。 | 左手人差し指裂傷・左手親指骨折 |
| 6 | 休業4日以上 | 8月 | 下越 | 道路 | 道路付属物 | 工具取扱 | ベビーサンダーにて作業中に、刃こぼれをおこしその反動でベビーサンダーを右足に落とし負傷した。 | 右足背創挫 |
| 7 | 休業4日以上 | 7月 | 中越 | 河川 | 維持工事 | 工具取扱 | 河川堤防の草刈り作業において、上段で作業をしていた作業員が転倒し滑り落ち、下段で作業中の作業員の草刈り機で指を切断 | 左手薬指・小指を切断 |
| ⑧ | 休業4日以上 | 9月 | 下越 | 道路 | 舗装工事 | 重機接触等 | BHにより防草コンクリートの整地中、BHのバケットが作業員と接触した。 | 肝臓損傷、肋骨にひび |
| ⑨ | 休業4日以上 | 9月 | 西部 | 道路 | 防災工事 | 飛来落下 | 地滑り対策の鋼管杭φ457.2mm打設作業中に、グラウト注入用のSGP40Aが約10m上から落下し、作業員の右腕を直撃した。 | 右橈骨骨折 |
| ⑩ | 休業4日以上 | 9月 | 下越 | 道路 | PC上部 | 工具取扱 | PC鋼線の引き込み作業中に、3tウインチを固定していたアイボルトが破断し、ウインチが移動しその際に被災者の右足先が橋面とウインチに挟まり、そのまま引きずられ左足先を負傷した。 | 右足指1-5指切断 |
| 11 | 休業4日以上 | 9月 | 下越 | 港湾 | 港湾工事 | 転落 | 消波工（テトラポット80t）の陸上転置用クローラクレーン（250t吊り）解体作業時にクレーン上部のモーターガードの取り替え中に約2.3m下に転落し被災した。 | 右肋骨骨折、右手手首複雑骨折 |
| ⑫ | 休業4日以上 | 9月 | 中越 | 道路 | 道路付属物 | 転落 | 擁壁天端で整地作業をしていたところ小型BHとオペレーターが2.5m下の歩道に転落した。 | 右肩負傷 |
| 13 | 休業4日以上 | 10月 | 中越 | 砂防 | 砂防堰堤 | 重機接触等 | BH搬出作業のためセルフローダーを坂路に止BHを乗せる作業中にBHが滑り斜面に転落した、オペレーターは、飛び降りて、15m下に転落した。 | 脊髄損傷 |

○印は、詳細事例あり

※この表は、10月末現在で集計しています。

6. 平成24年の休業4日以上のお事故事例

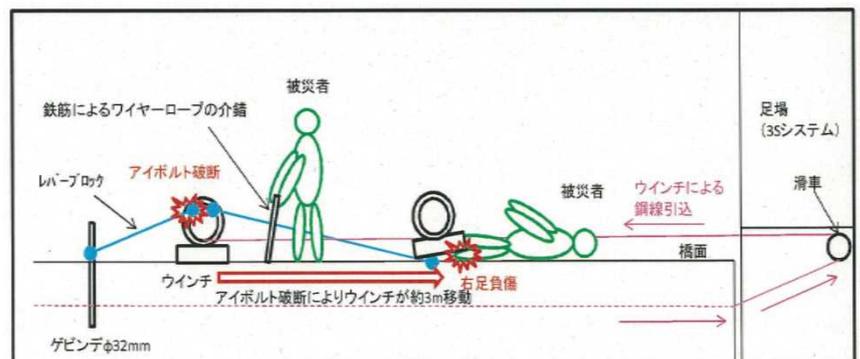
事例-1 重機等接触による事故：「BHと作業員の接触による事故」

- 工事内容：舗装工事
- 事故概要：0.4m²級BHと作業員及び合図者の3名で防草コンクリートの基面整正作業中に、BHが右旋回した際に、作業半径内で作業を行っていた作業員をバケットで転倒させた。
- 事故原因：◆重機の作業半径内で作業を行っていた。BHオペレータから死角となる位置で作業を行っていた。
◆重機合図者が配置場所を離れていた。
- 防止対策：◆機械の作業半径をカラーコーンで明示し立ち入り禁止とする。
◆重機オペレータは、移動・旋回時に警笛を鳴らし周囲に注意喚起を行う。



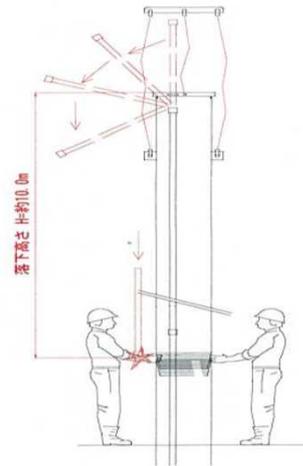
事例-2 工具取扱いによる事故：「ウインチの固定金具破損に起因する事」

- 工事内容：PC上部工事
- 事故概要：主桁コンクリート内にPC鋼材を挿入する、3tウインチの乱巻き補正作業を行っていたところ、ウインチを固定していたアイボルトが破断しウインチが滑動し、作業員の右足先がウインチと橋面に挟まれた。
- 事故原因：◆本来専用架台によりウインチを固定するところ、ウインチのつり上げ用のアイボルト（ウインチ固定には強度不足）にレバブロックで固定したため。
◆作業員は、安全靴を履いていなかった。
- 防止対策：◆作業手順の変更の是非について、必ず報告すること及作業監督の徹底。
◆TBMで保護具等の着用を徹底する。



事例-3 飛来落下による事故：「杭打ち作業での部材落下事故」

- 工事内容：道路改良工事
- 事故概要：鋼管杭(457.2mm)の接続のため、上杭をクレーンでつり下げて連結する作業中に、一緒につり下げていたグラウト注入管(SGP40A)の最上部が外れて落下し、(約10m) 接続作業を行っていた作業員の右腕を直撃した。
- 事故原因：◆グラウト注入管の締め込み不足により、つり下げ作業で緩んだ。
◆注入管がつり金具から容易に抜ける構造であった。
- 防止対策：◆注入管の緊結と溶接を行ない、世話役が状態を記録する。
◆つり金具の構造を見直し、落下しない構造とした。



事例-4 転落による事故：「BHの転落による事故」

- 工事内容：道路附属物設置工事
- 事故概要：擁壁天端の昇降設備設置のため、擁壁天端の整地作業を小型BH (0.07m³)で行っていたところ、集積してあった草でBHが横滑りし、BHとオペレーターが約2.5m下の歩道に転落し、負傷した。
- 事故原因：◆擁壁天端の作業場所が、道路側に傾斜していた。
◆集積した草が天端に残っていた。
- 防止対策：◆重機作業まえの荒均し等の前処理を人力にて行う。
◆危険箇所を把握しポール等で目印を置く。

